

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス SmileOn			
○保護者評価実施期間	2024年11月1日 ~ 2024年11月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	2024年11月1日 ~ 2024年11月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	計画的な療育実施とフィードバック	毎週1回の職員会議・利用児共有会議 朝礼、終礼以外に支援共有、当日のプログラム会議	
2	専門的支援の実施	5領域を基にしたPDCAの計画的支援 専門職による連携したアプローチ（外部スーパーバイズもいただいている）	
3	子どもたちが活動を楽しみにしてくれている	プログラムが固定化されないように、子どもの状態に応じた計画 環境の構造化 月間計画を立案する際に、職員会議で共有修正後、保護者へ配布	

4	地域の中の様々な学校や支援級、通常級、特別支援学校から来てくれているため相互交流がうまれていること	学校紹介を療育の中に取り入れたり、余暇の時間を工夫している	
5	日々の支援を職員全員で話し合い、不明な点は安心して聞いたり助言したりし合えること	毎週1回の職員会議・利用児共有会議 朝礼、終礼以外に支援共有、当日のプログラム会議	

		公表 保護者等からの事業所評価の集計結果5						
事業所名	放課後等デイサービス SmileOn		公表日 2024年12月1日					
			利用児童数 27人			回収数 19		
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2	1	2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1	0	3	職員の方の紹介がないのでわからない。 活動中の様子を見る機会がない。	以前はお迎えの形であり見学が可能だったが、現在は送迎の為、改めて見学の日を設定したり面談時間を活動中にする等を検討する。 モニターを面談時に見ていただく、半年に1回スタッフ紹介のおたよりを発行。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1	0	2	活動している部屋に入る機会がない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	0	0	1		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	2	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	0	0	0	季節ごとの活動や外出・個別計画に沿った内容のプログラム等、本人も楽しみにしており、満足している。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	2	7	その必要性はあまりないと思います。	
保護者への説明	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	2	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	3	0	2	その家庭ごとに求めている情報が違うので、全てのニーズに応えるのは難しい。	実施している講座を周知することが必要
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	1	0	0	日々の連絡帳を続けさせていただいているため、子供の様子を伝えることができ、またお迎えの際にその内容へのご意見を聞くことができるのが、ありがたい。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	2	0	0		

明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2	1	7	その必要性を感じていません。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2	0	0	学校で困っていることにすぐに対応してくれた。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	1	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	2	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	0	0		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	4	0	0	基本的に楽しんで行っているが、たまに疲れるから行きたくないと言うことがある。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス SmileOn				公表日	2024/12/1
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		設備基準を満たしている。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	通常の配置数より多く配置している。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	会議などで毎日のプログラムを取り入れている。更にアセスメントと構造化への知識の向上に努める。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎朝、清掃の時間を設け職員全員で実施している。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	認められる環境となっている。限られた空間の中での使用方法は工夫が必要。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		振り返りの時間を設定し、全員で話し合いを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		アンケートを実施し、職員会議で話し合いの上で業務改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎日共有会議及び毎週の職員会議を実施している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		第3者評価を実施しています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		入職後の育成期間を設け育成担当からの助言や研修、OJTを実施している。その後も適宜研修を実施している。		
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		ホームページに公表している。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		統一したアセスメントを使用し個別支援計画を作成している。また、会議には保護者との面談や提出いただいたアセスメントシートも共有している。面談は子どもとの面談、保護者との面談をおこない、保護者との面談では児発管と共にその子どもを担当している職員に同席してもらっている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8				

供 應	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		<p>毎日、担当曜日のリーダーが共有会議の際にスタッフ全員に共有をおこない内容の修正や追加と共に内容の把握を行っている。</p>	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7			日々使用する療育計画の書式に予め4つの基本活動と5領域の視点等の項目を入れ作成と実施を行っている。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			やりたくない時には選択できるような形で提案をし自己決定できるような配慮をしている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		会議には児発管と療育スタッフが参加できるように設定している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		関係機関連携会議等を実施している。また、相談支援と連携し医師や学校の教員とも連携した支援を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		学校からの月間のお便りや教育計画等を保護者や学校と連携しながら把握させていただいている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		情報提供書や電話での共有等実施している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	学校卒業者が未だいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	児童発達支援センターとの連携を心がけている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	外出時に自然発生的に遊びが発生する場合がある。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6		参加している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		毎回の支援終了後、保護者様へフィードバックしHUGにてお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	7	面談時に対応方法について助言させていただいたり、ペアレン特レーニングについて、情報提供を行っている。定期的に、保護者が参加し子育てについて研修を受けたり保護者同士がディスカッションをする時間を設けている。	
運 営 方 法	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧にご説明するとともに事業所内に重要書類を掲示している。	利用料金について負担額が変更となった際には、ご説明のお時間をいただくこととする。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		子どもと保護者さまと面談時に実施している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3		父母会や保護者会、きょうだい児の交流する場については検討と企画を進めていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		受付者・解決責任者を選任し、苦情受付体制を整えるとともに、苦情をいただいた際には職員全体で改善をするよう体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月、通信と月間プログラム計画を配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報が記載されたものは必ず鍵付き棚に入れている。 端末はパスワードを設定し、メールに関してもパスワードをする等、適切な対応を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		視覚支援や記録の書面をコピーしあ渡しする等の配慮を心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	市内の読み聞かせボランティア団体にいらしていただき子どもたちに読んでいただき和やかな相互交流が進められている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		マニュアルを策定し、研修を実施している。	訓練頻度を増やす。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		書面にて提出いただいている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	現在前例はないが看護師が事業所在籍の為、指示書を基に看護師の助言と共に対応する事となっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		安全計画を作成し、安全管理に必要な訓練を行っている。	研修を増やす。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		安全計画を作成し、引き取り訓練等を実施。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットに関して時間をおかずずに直ぐに共有し改善策を話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修を実施していると共に、各自保管用のマニュアルに記載し適宜確認できるようにしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		保護者様へは、契約時に丁寧に説明し、必要な際には放課後等デイサービス通所計画の特記事項にも記載することとしている。	